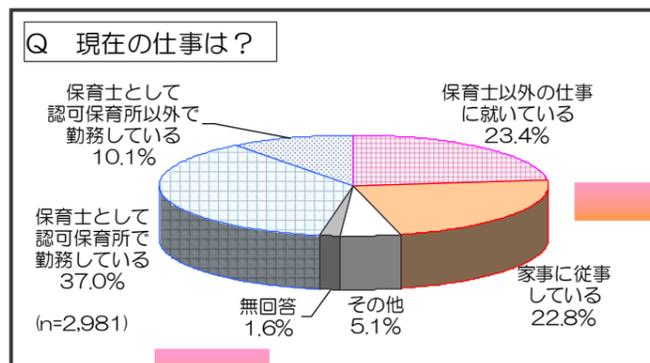


1 保育士実態調査の主な結果

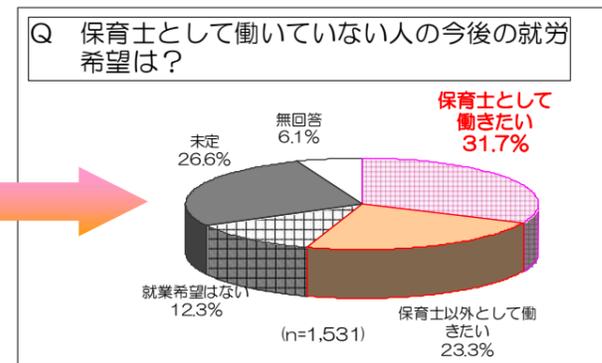
【保育士登録者用調査】

- 調査対象：県内の保育士登録者17,260人の中から6,000人を無作為抽出
- 有効回収（率）：2,981人（49.7%）

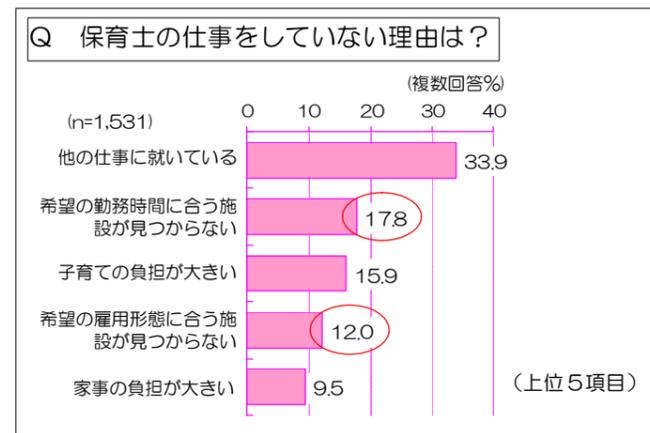
◆ 保育士の資格を持っていないが、保育士として働いていない人がほぼ2人に1人



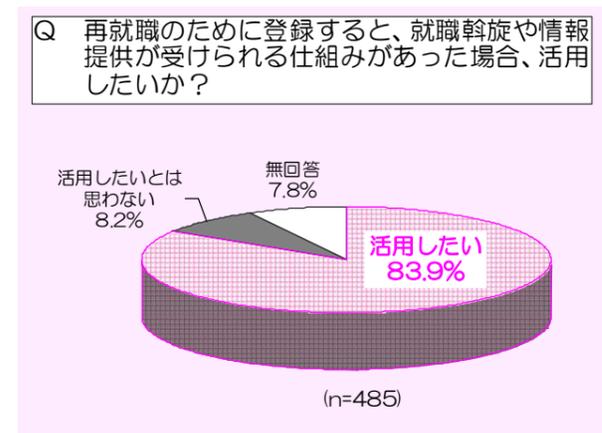
◆ 保育士以外の仕事に従事もしくは無職の方で保育士として就労意向のある人は3人に1人



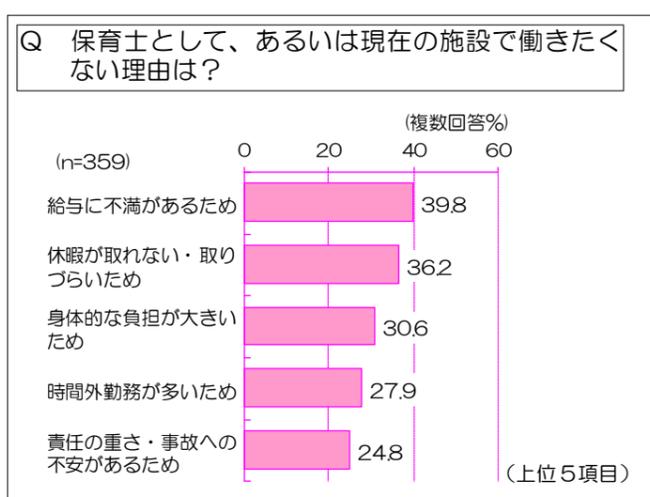
◆ 保育士の仕事をしていない理由として、希望の勤務先とのミスマッチが少なくない



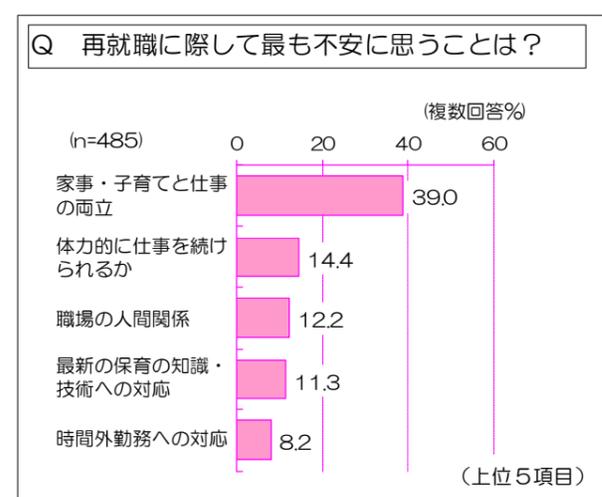
◆ 再就職のための登録制度（例：人材バンク）への活用意向が非就労者の8割にのぼる



◆ 現勤務先で働きたくない3大理由は、「給料に不満」、「休暇がとれない」、「身体的負担が大きい」



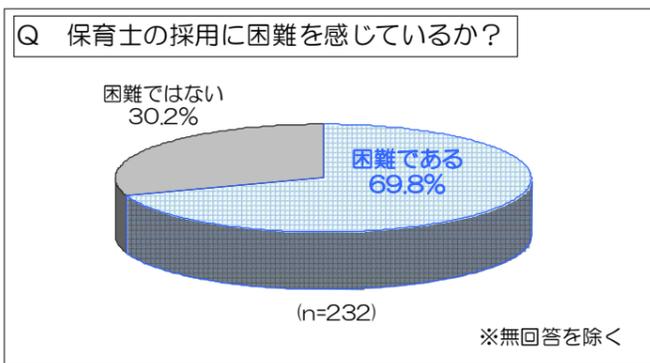
◆ 潜在保育士の再就職時の不安は、「家事・子育てと仕事の両立」が第1位



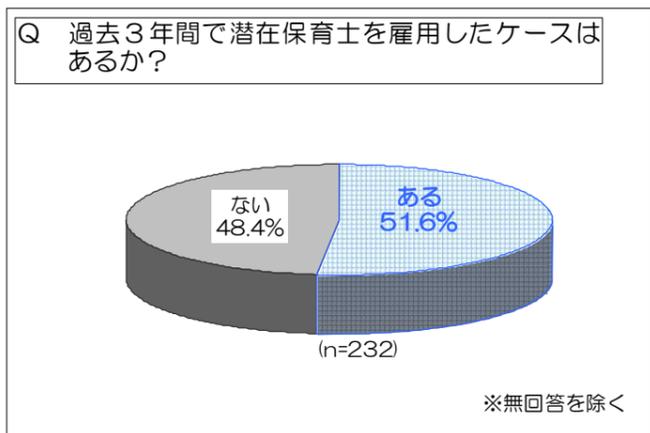
【保育施設用調査】

- 調査対象：県内の認可保育所（208施設）及び認可外保育施設（77施設）の計285施設
- 有効回収（率）：232施設（81.4%）

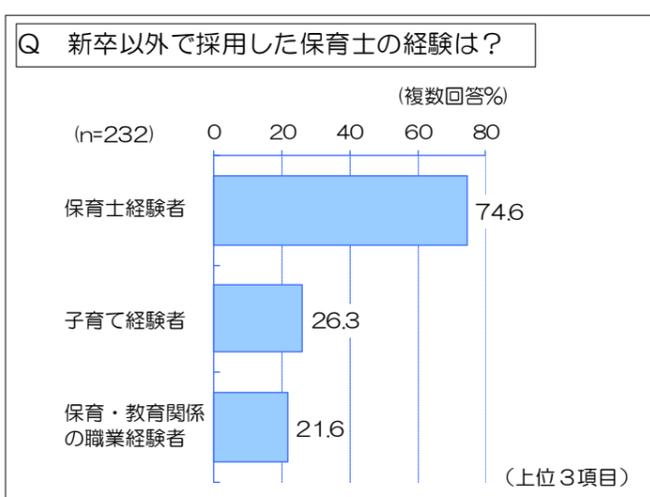
◆ 回答施設の7割が保育士の採用に困難さを感じている



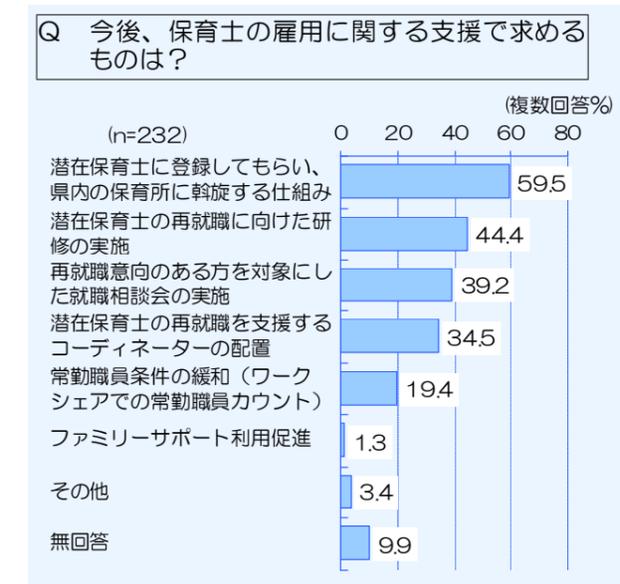
◆ 回答施設の約半数が潜在保育士を雇用したケースがある



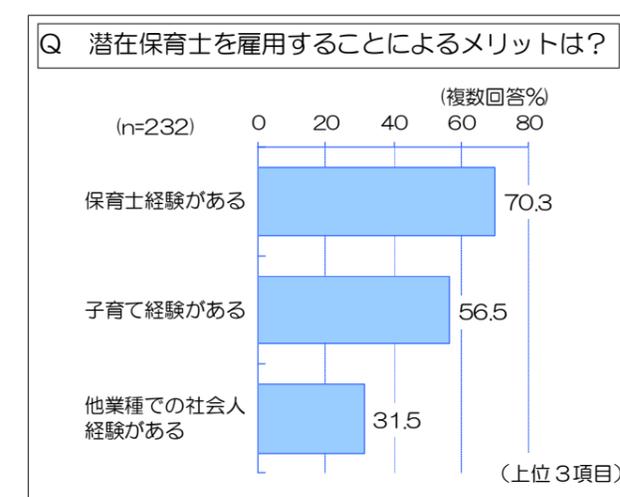
◆ 新卒以外での採用は、「保育士経験者」が最も多く、次いで「子育て経験者」



◆ 「潜在保育士の登録・斡旋の仕組み」、「再就職支援研修」を求める施設が多い



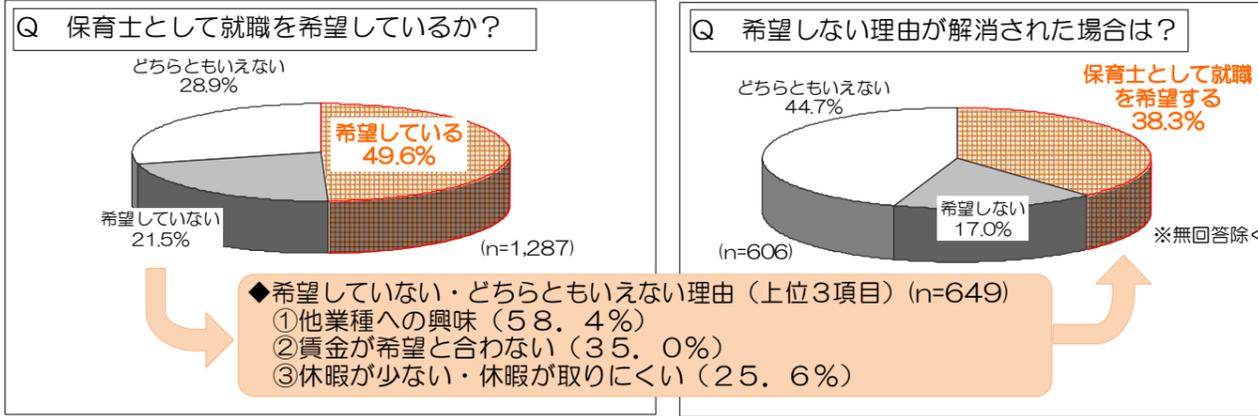
◆ 「保育士経験がある」「子育て経験がある」が潜在保育士雇用のメリット



2 奈良県指定保育士養成施設調査の主な結果

【施設用調査】 ● 調査対象：県内の保育士養成施設 ● 有効回収（率）8施設（100%）
 【学生用調査】 ● 調査対象：上記に通学する1～4年生の学生 ● 有効回収数：1,287人

◆ 保育士として就職を「希望しない」、「どちらともいえない」が半数。その理由が解決しても保育士を希望する学生は4割弱



3 保育施設ヒアリング調査の主な意見

保育施設用調査で回答のあった施設から、地域性、運営主体、施設規模等を考慮のうえ、9施設を選定し、個別訪問により施設長等に対しヒアリングを実施

人材バンクはハローワークのような機能だけでなく、登録者が園に見学にいけるような機能もあれば良い

今後の課題として大切なのは5年後、10年後の働き甲斐（イメージ）をどのように持てるかということ

若い保育士には、特技を活かし保育に携わってほしい

人材バンクで求職者が細かな条件を容易に比較できることになり、保育士の地域偏在が進まないよう工夫が必要

中堅以上の保育士の研修には、特別支援、メンタル相談、新しい制度の動向など（他の保育士へ伝達等できるもの）が必要

経験や技能に応じて保育士の資格が複数（例 一級、二級保育士）あれば大きな励みになる

e t c...

4 奈良県保育士実態調査有識者検討会

各調査の結果及び効果的な対策について検討するため、関係諸分野の方より意見や提言を得ることを目的に実施（第1回：平成25年12月27日、第2回：平成26年2月7日）

今後の本県の保育士確保対策について

- 保育士確保対策の検討にあたっては、「潜在保育士の（再）就職を支援する」、「現任保育士の定着を促進する」、「新規の就業者を増加させる」の3点をバランス良くかつ総合的に推進します。
- 保育士に登録してもらい、県内の保育施設に紹介、斡旋する人材バンクを設置・運営します。
- 子育て中の女性や子育て経験者を対象に、保育士資格の取得支援を行います。
- また、保育士確保対策をより効果的なものとするため、保育士の「資質向上」、「キャリアパスの整備」、及び「ワーク・ライフ・バランスの確立」について、継続的に検討を進めます。

奈良県保育士実態調査等報告書 概要版

調査の目的

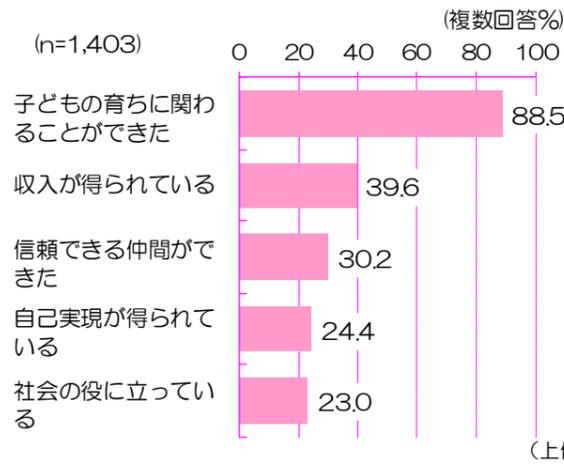
県では、今後の保育士確保対策について検討する基礎資料を得るため、県内の保育施設、保育士登録者、保育士養成施設及び養成施設の学生を対象に「保育士実態調査」を平成25年9月～平成26年1月の間、実施いたしました。
 この度、調査結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。

保育士登録者用調査結果

「子どもの育ちに関わることができた」ことをやりがいに感じる保育士が多い

保育士として、働いてこられた中で「やりがい」を感じることは、「子どもの育ちに関わることができた」が一番多く、以下2位が「収入が得られている」、3位が「信頼できる仲間ができた」と続いています。

Q 保育士として働いてきた中でやりがいに感じることは？



平成26年3月

奈良県